

12月  
01日

MicroBitで気象観測プログラム ②

マイクロビット プログラム

②

① 新しいプロジェクトを追加する。



② 保存する。



③ 「入力」の引き出しから、「ボタンA が押されたとき」をドラッグ。



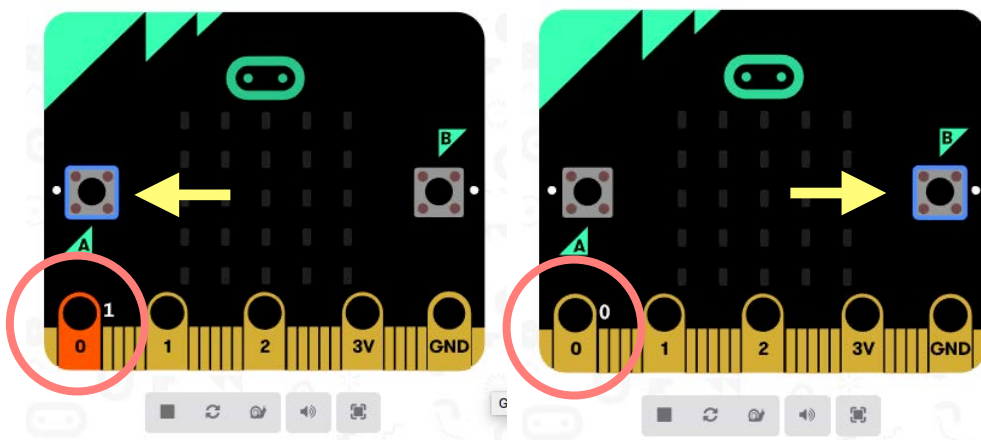
④ ボタンA が押されたときを複製してBにする。

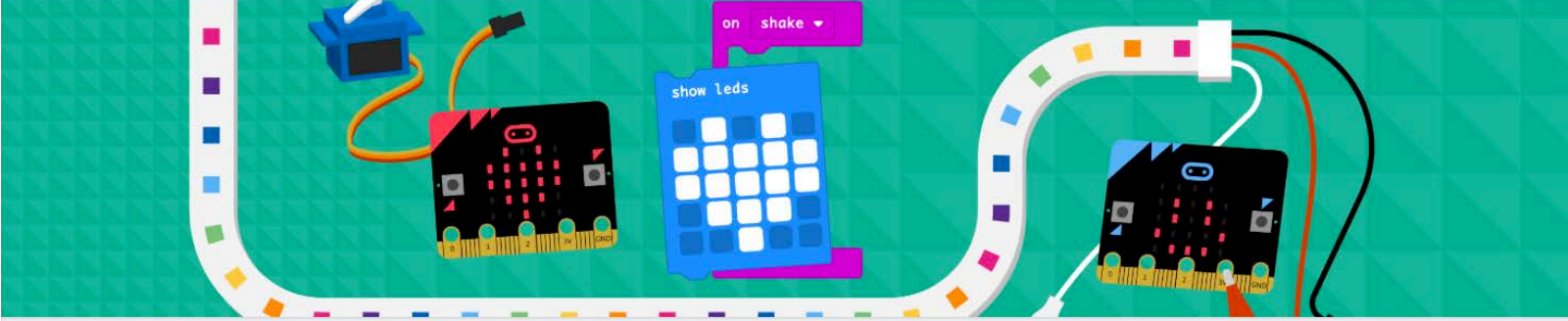
⑤ 「入出力端子」の引き出しから、「デジタルで出力する 端子 P0」をドラッグ。



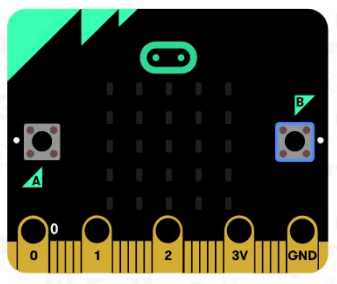
⑥ シミュレーターのボタンAを押すとP0が変化する。

ボタンBを押すとP0がもとに戻る。





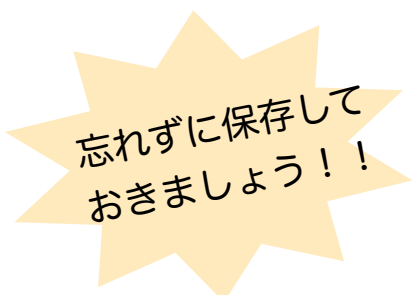
- ⑦ 「ダウンロード」を押して、プログラムをマイクロビットに転送しておきます。
- ⑧ マイクロビットに「リレーモジュール」を接続する。



黄 赤 黒



- ⑨ ACコンセントに電気製品（電気スタンド）を差し込む。  
※ スイッチをONにしておく（まだ電気は点灯しない）
- ⑩ マイクロビットの「ボタンA」を押すと、電気が点灯して「ボタンB」を押すと、電気が消えれば成功です。



次のプログラムを追加してみましょう。



明るさが20より小さいときは点灯して

明るさが20より大きいときは消える

※ 夕方になり暗くなると街灯がつき、朝になると消える仕組みの実験です。